

アスファルト混合物報告書

2026年2月27日

様

製造会社

所在地 鳥取県米子市古豊千372

工場名 米子舗材株式会社

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(ECOフォームト)	13 mm	2.386 g/cm ³	160~180 ℃	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
4.2 %	74.1 %	12.22 kN	34 1/100cm	
D	S	値		
4846 回/mm				
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
改質アスファルトII型	岡山県玉野市玉原	日進化成(株)	2.78	OAC5.2
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	1.4	
砕石5号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	-	
砕石6号			31.8	
砕石6号	鳥取県日野郡日野町	(株)ケイナン	-	
砕石7号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	1.9	
砕砂			12.4	
粗砂	島根県安来市広瀬町	(有)越野組	-	
細砂	鳥取県東伯郡北栄町	(有)きのえ	-	
再生骨材	鳥取県西伯郡大山町	(有)きのえ	49.8	
再生用添加剤	-	三徳アスリード(株)	-	
※再生アスファルト配合率の計算				
旧As=2.42% 新As=2.78%				
最適As量(OAC)時の再生アスファルト配合率 = 2.42 + 2.78 = 5.20%				

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト)

2026年 2月

米子舗材 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォ-ルト')

報告者 村島 誠治

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
7号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
再生骨材(13~0)	有限会社きのえ	西伯郡大山町羽田井	再生骨材
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	炭酸カルシウム
再生改質アスファルトII型	日進化成株式会社	岡山県玉野市玉原	ポリマー改質As

2. 配合割合

材料名	6号碎石	7号碎石	砕砂	粒間(13~0)	石粉					旧AS		新AS	計
室内配合%	31.76	1.90	12.32	49.82	1.42					(2.42)		2.78	100.00
ピン名	5ピン	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	再生骨材	回収ダスト	石粉		旧AS		新AS	計
現場配合%			30.33	3.32	11.38	49.82	0.95	1.42		(2.42)	0.14	2.64	100.00

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600µm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	97.4		52.5	40.8		22.6	15.7	10.0	7.2
粒度範囲	上限					100	100	55	45		40	30	15	10
	下限					100	95	35	30		20	15	5	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm³)	理論密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー (1/100cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.2	2.386	2.490	4.2	74.1	12.22	34	93.3
基準値	上限				7	85		40
	下限				3	65	4.90以上	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト')

試験者 村島 誠治

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	砕 砂	再生骨材 (石 粉 13~0)				
通過質量百分率%	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0			100.0				
	13.2	93.7	100.0		98.9				
	9.5								
	4.75	3.4	93.7	100.0	69.9				
	2.36	0.3	13.9	95.2	52.9				
	1.18								
	600 μm		1.0	42.2	31.1				
	300		0.6	25.6	21.7	100.0			
	150			15.4	13.0	97.9			
	75			8.8	9.6	88.0			

性状試験

試験項目		6号碎石	7号碎石	砕 砂	再生骨材 (石 粉 13~0)				
密 度	表 乾	2.672	2.661	2.639	—	—			
	か さ	2.651	2.634	2.595	—	—			
	見 掛	2.709	2.707	2.714	—	2.710			
吸水率 / 水分量 %		0.81	1.04	1.69	—	0.01			
すりへり減量 %		11.8	12.1	—	—	—			
安定性 %		2.8	1.7	2.6	—	—			
微粒分量試験 %		—	—	—	1.8	—			
軟石含有量 %		1.7	2.2	—	—	—			
扁平細長石片 %		3.9	—	—	—	—			
単位容積質量		1.549	1.562	1.763	—	—			
粘土塊量 %		0.06	0.05	0.12	—	—			
最大密度		—	—	—	2.493	—			
旧 A s 含有量 %		—	—	—	4.85	—			
旧 A s 針入度		—	—	—	—	—			
圧 裂 係 数		—	—	—	1.33	—			

骨 材 粒 度 設 計

目 的 配 合 設 計 (室 内)

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォーマット')

試験者 村島 誠治

3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		6号碎石	7号碎石	碎 砂	再生骨材(石粉 13~0)				
配 合 率 A %		33.5	2.0	13.0	50.0	1.5			
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0			100.0				
	13.2	93.7	100.0		98.9				
	9.5								
	4.75	3.4	93.7	100.0	69.9				
	2.36	0.3	13.9	95.2	52.9				
	1.18								
	600 μm		1.0	42.2	31.1				
	300		0.6	25.6	21.7	100.0			
	150			15.4	13.0	97.9			
75			8.8	9.6	88.0				

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)									合 成	粒 度 範 囲
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19	33.5				50.0				100.0	100 ~ 100
13.2	31.4	2.0			49.5				97.4	95 ~ 100
9.5										
4.75	1.1	1.9	13.0		35.0				52.5	35 ~ 55
2.36	0.1	0.3	12.4		26.5				40.8	30 ~ 45
1.18										
600 μm		0.0	5.5		15.6				22.6	20 ~ 40
300		0.0	3.3		10.9	1.5			15.7	15 ~ 30
150			2.0		6.5	1.5			10.0	5 ~ 15
75			1.1		4.8	1.3			7.2	4 ~ 10

骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計（室内）

試験年月日 2026年 2月24日

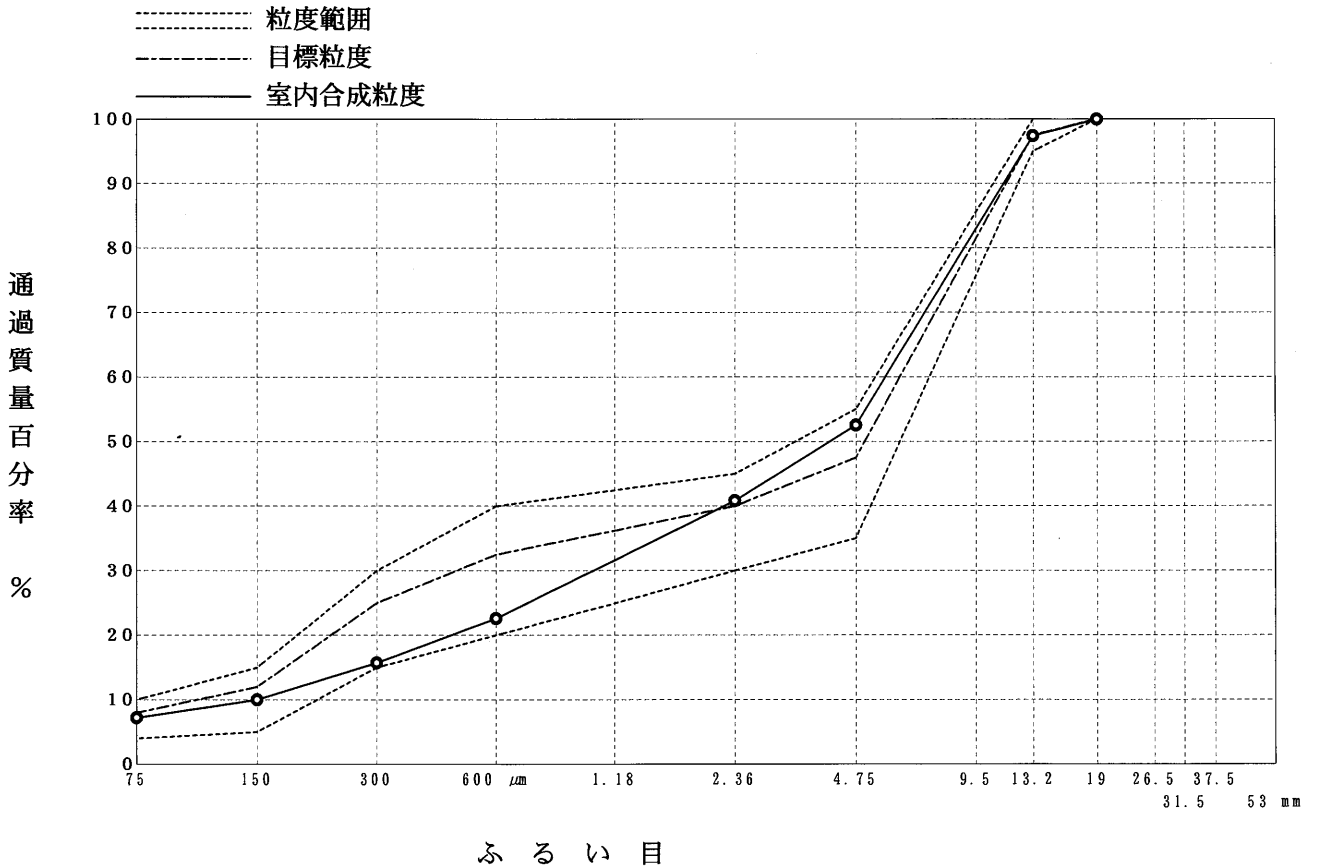
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト')

試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		室内合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19		100.0	100.0	100
13.2		97.4	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75		52.5	47.5	35 ~ 55
2.36		40.8	40.0	30 ~ 45
1.18				
600 μm		22.6	32.5	20 ~ 40
300		15.7	25.0	15 ~ 30
150		10.0	12.0	5 ~ 15
75		7.2	8.0	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト')

試験者 村島 誠治

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)
6号碎石	33.5	33.50
7号碎石	2.0	2.00
砕砂	13.0	13.00
再生骨材(13~0)	50.0	52.55
石粉	1.5	1.50
計	100.0	102.55
設計圧裂係数 MPa/mm		0.70
旧アスファルト量 (外割%)		2.55
新アスファルト量 (外割%)		3.49

再生アスファルト量 (%)	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	5.2		
再生アスファルト量 (外割%)	4.17	4.71	5.26	5.82	6.38	5.49		
旧アスファルト量 (外割%)	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55		
新アスファルト量 (外割%)	1.62	2.16	2.71	3.27	3.83	2.94		
旧アスファルト/新アスファルト 比	61/39	54/46	48/52	44/56	40/60	46/54		

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (室 内)

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質Ⅱ型(EC07ォールト)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 再生改質7スフアルトⅡ型 アスファルトの密度 (A) 1.036 アスファルトの温度 175 ℃ 骨材の温度 195 ℃

突 固 め 温 度 165 ℃ 突 固 め 回 数 75 回 力 計 の 係 数 (B) XYレコーダー

供 試 体 条 件	①	②			③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	⑱	定 規 値 (kN/m)		
		1	2	3			4	容 積 (cm ³)						密 度 か さ (g/cm ³)	理 論 密 度 (g/cm ³)					空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)				飽 和 度 (%)	力 計 の 係 数 (kN)
標 準	1	6.41	6.42	6.42	6.42	6.42	6.42	6.42	6.42	1207.5	696.3	1210.3	514.0	2.349												
	2	6.38	6.38	6.40	6.39	6.39	6.39	6.39	6.39	1200.2	692.2	1202.7	510.5	2.351												
	3	6.25	6.25	6.24	6.24	6.25	6.25	6.25	6.25	1198.5	688.6	1201.4	512.8	2.337												
標 準	平均																									
	4	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	1207.7	699.6	1210.7	511.1	2.363												
	5	6.30	6.31	6.29	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	1202.5	697.5	1205.5	508.0	2.367												
標 準	6	6.43	6.44	6.45	6.45	6.44	6.45	6.45	6.44	1203.7	697.8	1206.3	508.5	2.367												
	平均																									
	7	6.41	6.42	6.42	6.43	6.42	6.42	6.43	6.42	1210.4	706.1	1213.4	507.3	2.386												
標 準	8	6.42	6.44	6.44	6.42	6.43	6.42	6.42	6.43	1209.2	702.9	1212.0	509.1	2.375												
	9	6.42	6.42	6.46	6.43	6.43	6.43	6.43	6.43	1200.1	700.1	1202.9	502.8	2.387												
	平均																									
標 準	10	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	1210.3	707.0	1213.0	506.0	2.392												
	11	6.40	6.41	6.42	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	1201.8	700.6	1204.5	503.9	2.385												
	12	6.28	6.28	6.32	6.29	6.29	6.29	6.29	6.29	1208.7	703.0	1211.7	508.7	2.376												
標 準	平均																									
	13	6.31	6.30	6.32	6.30	6.31	6.30	6.30	6.31	1202.7	698.9	1205.3	506.4	2.375												
	14	6.45	6.45	6.43	6.44	6.44	6.44	6.44	6.44	1204.0	698.6	1206.8	508.2	2.369												
標 準	15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364												
	平均																									
	15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364												
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7	2.364													
平均																										
15	6.32	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1202.6	696.5	1205.2	508.7														

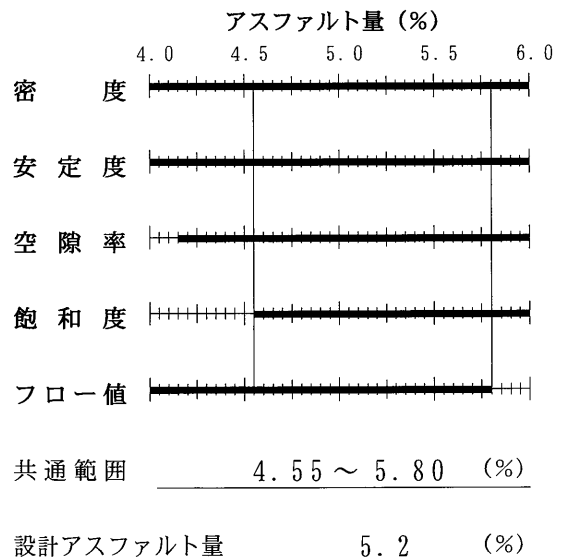
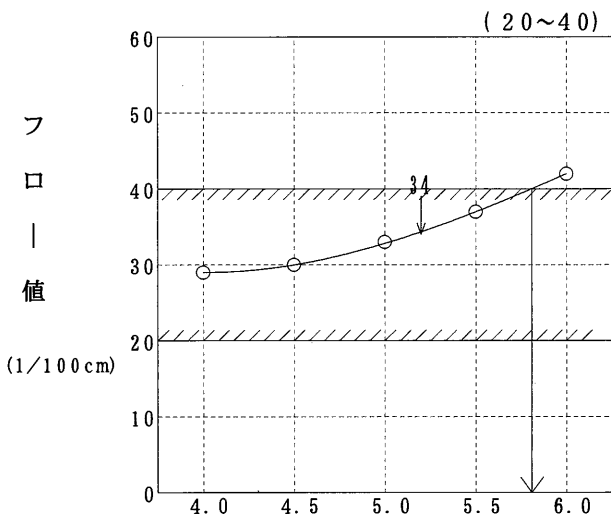
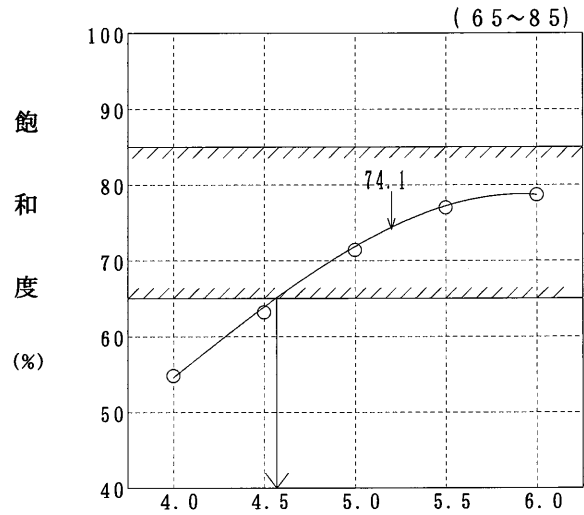
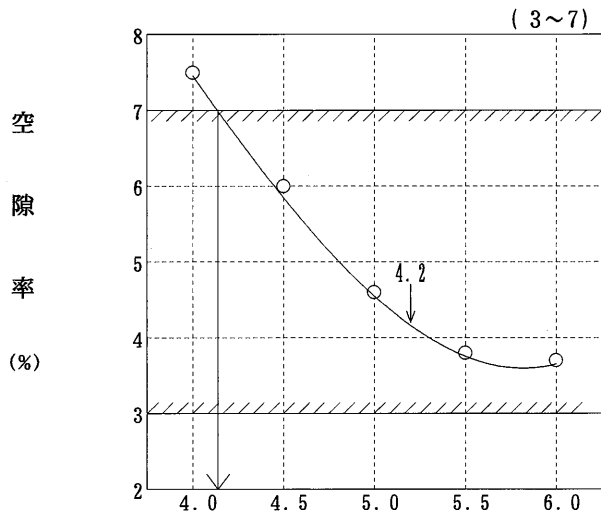
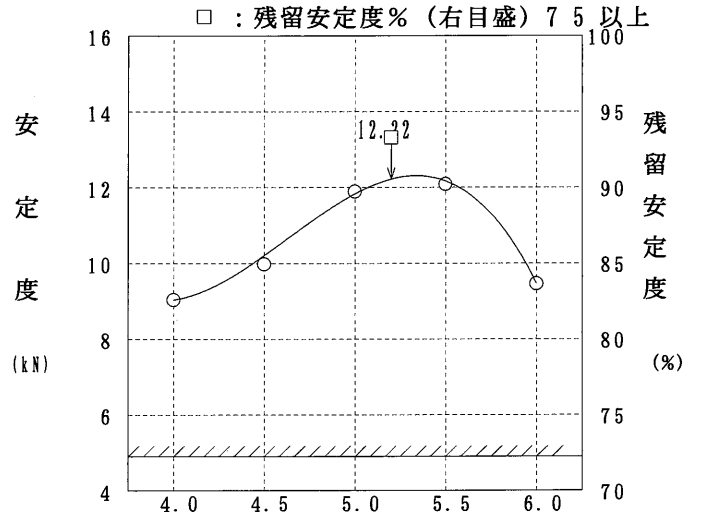
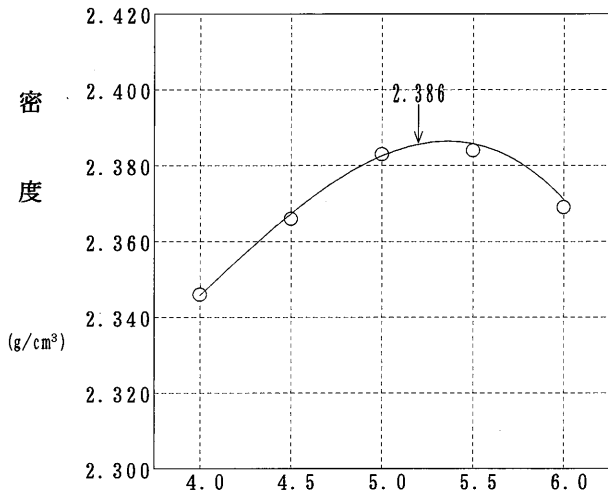
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォーマト')

試験者 村島 誠治



アスファルト量 (%)

ホ ッ ト ビ ン 粒 度 設 計

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試 験 年 月 日 2026年 2月24日

混 合 物 の 種 類 再 生 密 粒 度 ギ ャ ッ プ ア ス コ ン (1 3) 改 質 Ⅱ 型 (E C O フ ォ ー ム ト)

試 験 者 村 島 誠 治

3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		3ピン	2ピン	1ピン	再生骨材	回収ダスト	石粉		
配 合 率 A %		32.0	3.5	12.0	50.0	1.0	1.5		
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0			100.0				
	13.2	96.8	100.0		98.9				
	9.5								
	4.75	1.5	96.9	100.0	69.9				
	2.36		1.4	98.1	52.9				
	1.18								
	600 μm			72.7	31.1	100.0			
	300			43.3	21.7	98.8	100.0		
	150			8.2	13.0	88.6	97.9		
75			0.8	9.6	76.7	88.0			

各 骨 材 の ふ る い 目 の 大 き さ 別 配 合 率 (A) × (B)

各 骨 材 の ふ る い 目 の 大 き さ 別 配 合 率 (A) × (B)									合 成	粒 度 範 囲
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19	32.0				50.0				100.0	100 ~ 100
13.2	31.0	3.5			49.5				98.5	95 ~ 100
9.5										
4.75	0.5	3.4	12.0		35.0				53.4	35 ~ 55
2.36		0.0	11.8		26.5				40.8	30 ~ 45
1.18										
600 μm			8.7	15.6	1.0				26.8	20 ~ 40
300			5.2	10.9	1.0	1.5			18.6	15 ~ 30
150			1.0	6.5	0.9	1.5			9.9	5 ~ 15
75			0.1	4.8	0.8	1.3			7.0	4 ~ 10

ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2026年 2月24日

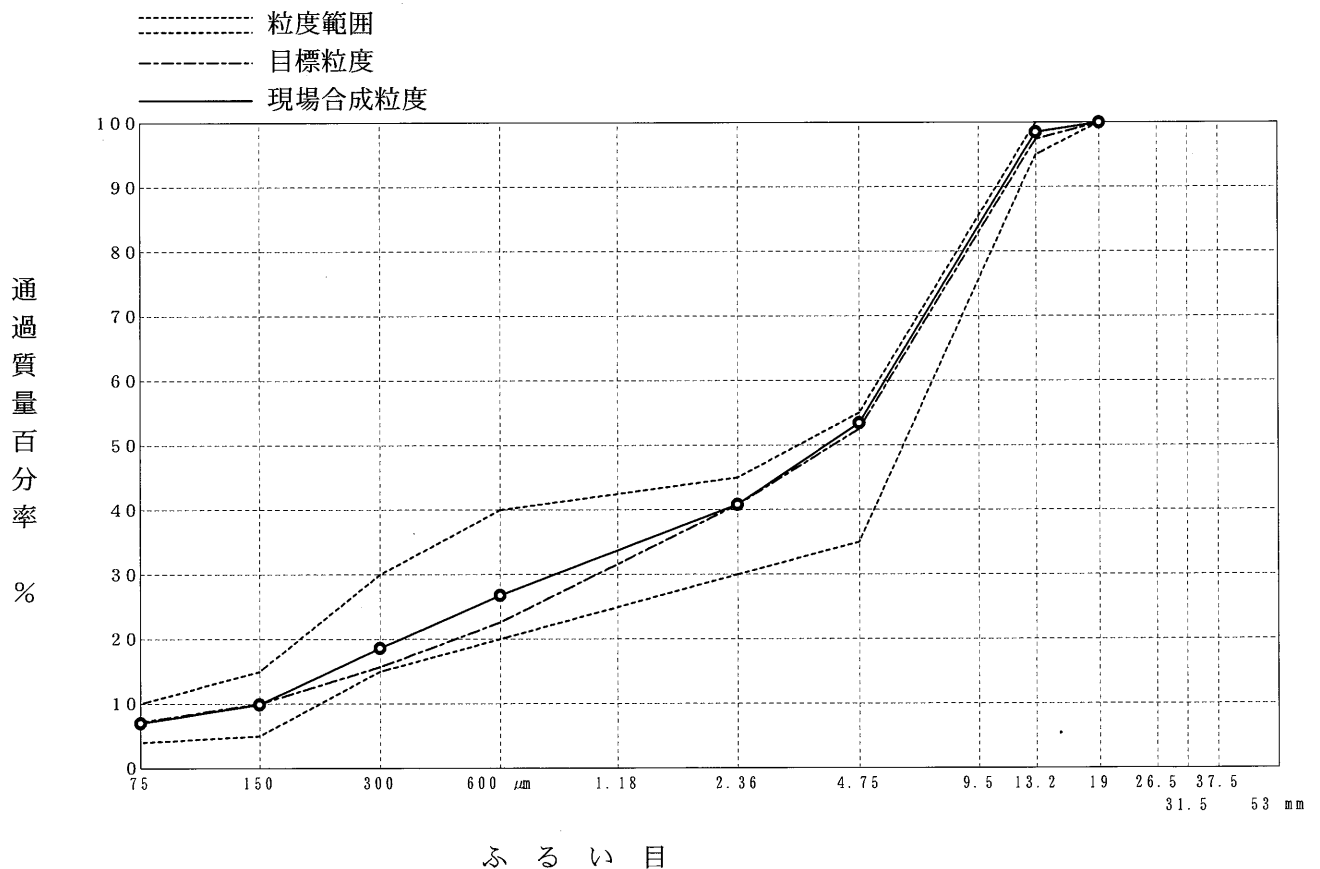
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		現場合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19		100.0	100.0	100
13.2		98.5	97.4	95 ~ 100
9.5				
4.75		53.4	52.5	35 ~ 55
2.36		40.8	40.8	30 ~ 45
1.18				
600 μm		26.8	22.6	20 ~ 40
300		18.6	15.7	15 ~ 30
150		9.9	10.0	5 ~ 15
75		7.0	7.2	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォーマット)

試験者 村島 誠治

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)
6号碎石	33.5	33.50
7号碎石	2.0	2.00
砕砂	13.0	13.00
再生骨材(13~0)	50.0	52.55
石粉	1.5	1.50
計	100.0	102.55
設計圧裂係数 MPa/mm		0.70
旧アスファルト量 (外割%)		2.55
新アスファルト量 (外割%)		3.49
再生アスファルト量 (%)	5.2	
再生アスファルト量 (外割%)	5.49	
旧アスファルト量 (外割%)	2.55	
新アスファルト量 (外割%)	2.94	
旧アスファルト/新アスファルト 比	46/54	

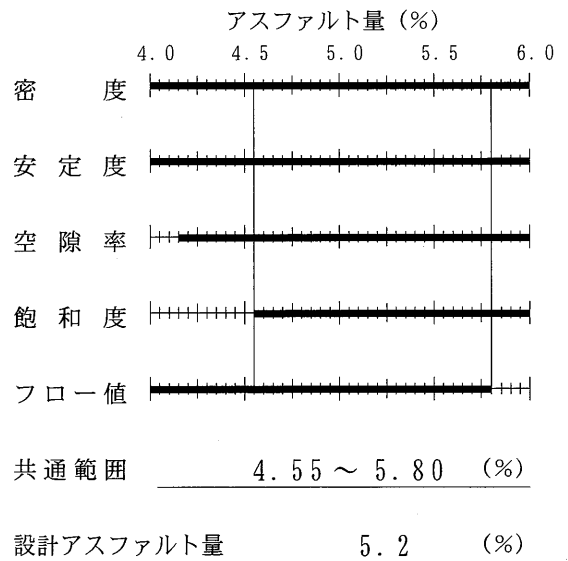
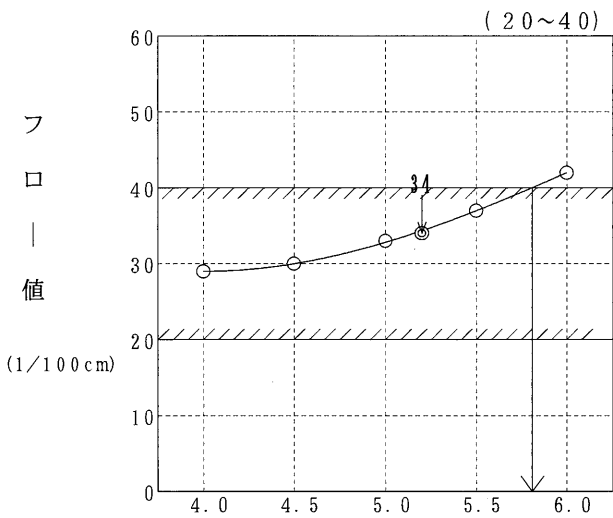
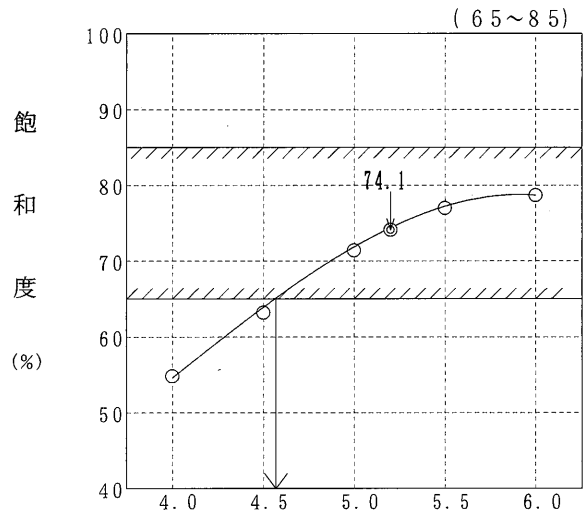
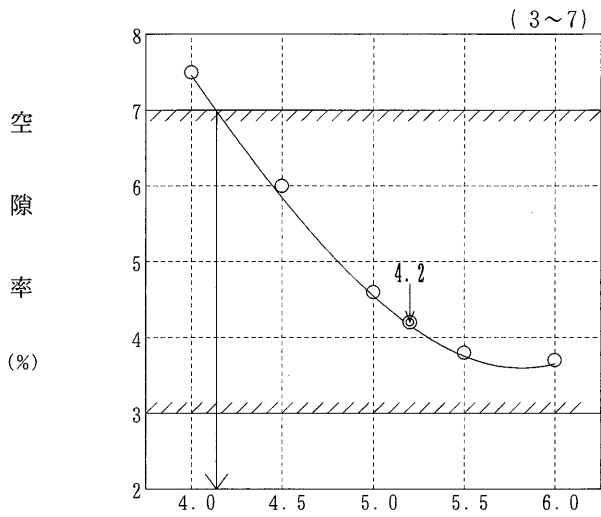
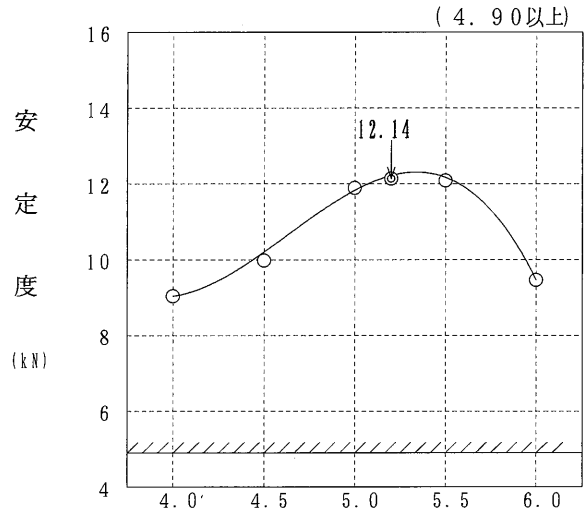
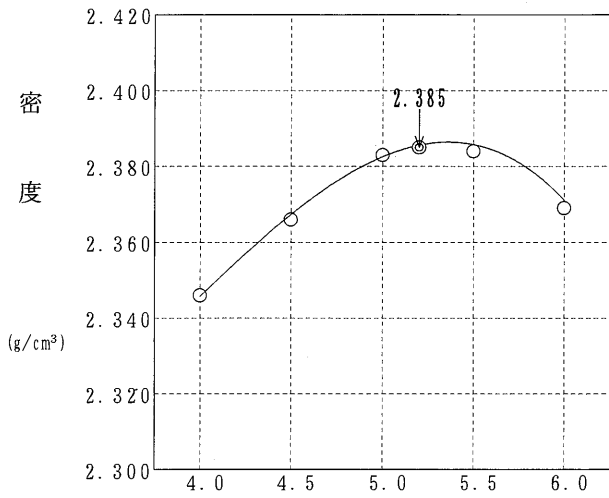
マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォーマト)

試験者 村島 誠治



アスファルト量 (%)

現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(ECOフォーマット)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.036 アスファルトの温度 _____ °C

骨材の温度 _____ °C 突固め温度 - °C 突固め回数 75 回 力計の係数(B) XYレコーダー

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯
		突固め温度(°C)	供試体平均厚(cm)	空中質量(g)	水中質量(g)	表乾質量(g)	容積(cc)	密度(理論)	かさ論	アコンスファルト積(%)	空隙率(%)	骨材空隙率(%)	飽和度(%)	安定度	安定度	フロロ値	安定度/フロロ
							⑤-④	③/⑥	①×⑦(A)		⑨+⑩	⑫/⑩×100				1/100 cm	(kN/m)
標準	1		6.41	1206.9	707.6	1209.8	502.2	2.403							13.39	24	
	2	165	6.36	1209.5	707.0	1212.2	505.2	2.394							13.48	34	
	3	As量	6.34	1211.0	708.3	1213.9	505.6	2.395							12.22	30	
		5.2															
平均								2.397	2.490	12.0	3.7	15.7	76.4		13.03	29	4493
標準	4		6.41	1210.0	706.2	1212.9	506.7	2.388							13.78	34	
	5	155	6.33	1212.6	709.7	1215.4	505.7	2.398							11.28	30	
	6	As量	6.40	1210.6	708.6	1213.2	504.6	2.399							13.28	25	
		5.2															
平均								2.395	2.490	12.0	3.8	15.8	75.9		12.78	30	4260
標準	7		6.28	1207.2	706.9	1210.3	503.4	2.398							11.57	31	
	8	145	6.34	1207.0	704.8	1210.0	505.2	2.389							13.76	32	
	9	As量	6.35	1209.7	705.2	1212.6	507.4	2.384							11.45	33	
		5.2															
平均								2.390	2.490	12.0	4.0	16.0	75.0		12.26	32	3831
標準	10		6.43	1209.3	702.8	1212.4	509.6	2.373							9.22	52	
	11	135	6.40	1208.2	699.8	1211.3	511.5	2.362							9.15	42	
	12	As量	6.40	1206.8	700.2	1209.8	509.6	2.368							9.39	46	
		5.2															
平均								2.368	2.490	11.9	4.9	16.8	70.8		9.25	47	1968
平均																	

$$\text{⑩} = (1 - \text{⑦}/\text{⑧}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2026年 2月24日

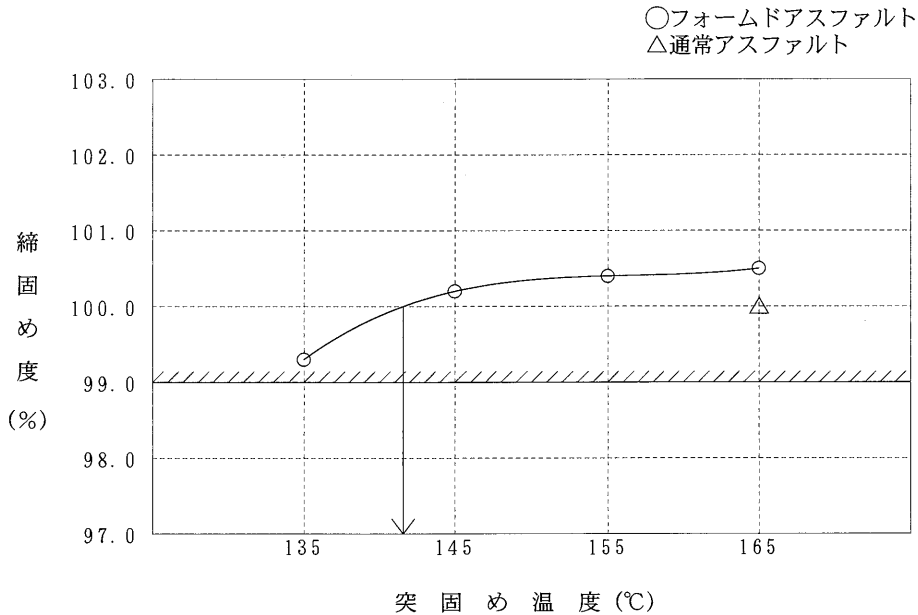
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(ECOフォームト)

試験者 村島 誠治

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、縮固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

縮固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目		理論密度 (g/cm ³)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	縮固め度 (%)
フォームドアスファルト	突固め温度	—	—	3~7	65~85	4.90以上	20~40	—
未使用	165℃	2.490	2.385	4.2	74.1	12.14	34	100.0
使用	165℃		2.397	3.7	76.4	13.03	29	100.5
使用	155℃		2.395	3.8	75.9	12.78	30	100.4
使用	145℃		2.390	4.0	75.0	12.26	32	100.2
使用	135℃		2.368	4.9	70.8	9.25	47	99.3



グラフより、

縮固め度100.0%が得られる突固め温度は142℃となった。

縮固め度99.0%以上が得られる突固め温度は135℃となった。

ホイールトラッキング試験

調査名・目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型(EC07ォ-ムト')

試験者 村島 誠治

走行方式 クランク式 タイヤゴム硬度 20℃:84 60℃:78
 載荷荷重 686N(接地圧 0.63MPa) 載荷方法 垂直
 供試体作製場所 室内 室内養生 12時間
 供試体の寸法 長さ300 幅300 厚さ50(mm) 走行回数(A) 42回/分
 試験温度 60℃ 養生時間 6時間 試験時間 60分 基準密度(B) 2.386 g/cm³

供試体番号		①	②	③	平均		
供試体作製	①供試体質量 (g)	10438	10467	10446			
	②水中質量 (g)	6068	6088	6053			
	③供試体体積 (cm ³)	(①-②) × 1	4370	4379	4393		
	④供試体密度 (g/cm ³)	①/③	2.389	2.390	2.378	2.386	
	⑤締固め度 (%)	④/(B) × 100	100.1	100.2	99.7	100.0	
ホイールトラッキング	走行時間 (分)	変形量 (mm)	⑥ d 0				
			⑦ d 5	1.19	0.78	0.87	
			⑧ d 10	1.40	0.96	1.06	
			⑨ d 15	1.54	1.08	1.19	
			⑩ d 30	1.80	1.32	1.44	
			⑪ d 45	1.98	1.49	1.62	
			⑫ d 60	2.12	1.62	1.74	
キンググ試験	⑬圧密変形量 (mm)		⑩×4-⑫×3	1.56	1.10	1.26	⑭ 1.31
	⑮動的安定度 (回/mm)		(A) × 15 / (⑫-⑪)	X 1 4500	X 2 4846	X 3 5250	⑯ = (A) × 15 / (⑫-⑪)の平均 4846
	⑰平均値との差の平方		(⑯ - X _i) ²	119716	0	163216	282932
	⑱標準偏差		s = √(Σ⑰/(n-1))	376.1	変動係数 (%)	c _v = ⑱/⑯ × 100	7.8
時間-変形量曲線の形状			1 上凸型	2 直線型	3 変曲型		

現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月24日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト')

試験者 村島 誠治

1バッチ 1000 kg

		骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1	ピ ン	12.0	12.00	11.38	114.0	114.0
2	ピ ン	3.5	3.50	3.32	33.0	147.0
3	ピ ン	32.0	32.00	30.33	303.0	450.0
再 生 骨 材		50.0	52.55	49.82	499.0	949.0
回 収 ダ ス ト		1.0	1.00	0.95	9.5	958.5
石 粉		1.5	1.50	1.42	14.0	14.0
旧 アスファルト			(2.55)	(2.42)		
			0.15	0.14	1.4	1.4
新 アスファルト			2.79	2.64	26.4	26.4
合 計		100.0	105.49	100.00	1000.3	1000.3

混合時間..... ドライタイム 20秒 ウェットタイム 30秒